

## ポーランド共和国

(情報提供：駐日ポーランド共和国大使館)

ポーランドは豊かな文化と歴史、そして息をのむような自然に恵まれた国です。ヨーロッパの中心に位置し、EU加盟国の中で最も成長が著しい経済と高水準の教育を誇るポーランドは、学びやキャリアをスタートさせるのに理想的な場所です。ポーランドの大学教育の伝統はすでに650年以上の歴史を持ち、1364年にカジミェシュ大王が創設したクラクフ・アカデミー（現在のヤゲロン大学）にまで遡ります。現在、400以上の高等教育機関に約150万人の学生が在籍しており、そのうち5万7千人以上は留学生です。



### 修業年限・学期

学士課程：3年間、修士課程：2年間、統一修士課程（医療、法学、心理学分野）：5年または6年間、第三段階課程（博士課程）：3～4年間

### 入学条件・出願・選考

学士課程および統一修士課程への出願資格は、高校卒業試験（matura）または同等の修了試験の結果に基づきます（matura証明書、またはそれと同等の、出身国で高等教育機関への入学資格を証明する書類が必要です）。修士課程への出願には、修士号、学士号、またはそれと同等の資格を有していること、ならびに大学が定める条件を満たしていることが求められます。英語で授業が行われる学科についての情報は、以下のウェブサイトを確認できます。https://study.gov.pl/

### 語学力の目安

ポーランドでの学業を始めるには、ポーランド語または英語のB2レベルの語学力が求められます。

### 留学にかかる費用の目安・滞在先

公立大学で授業料を支払う形で学ぶ留学生、または外国語で実施されるプログラムを履修する留学生は、以下の通り授業料を納める必要があります。年間の平均費用は以下の通りです：

- 学士課程、修士課程、または統一修士課程：2,000ユーロ
  - 博士課程、大学院課程、医療系の卒業インターンシップ、研究・芸術分野のインターンシップ、専門訓練、ハビリテーションインターンシップ：3,000ユーロ
  - 補習コースおよび学生向け職業実習：3,000ユーロ
  - 語学コース（ポーランド語での学習準備コースを含む）：2,000ユーロ
- 他の欧州諸国と比べ、比較的生活費や学費が安い国です。都市によって異なりますが、学生の平均的な生活費は月額350～550ユーロです。

**PICK UP** 日本国籍を有する方は、ポーランド政府の奨学金を受けて、学士課程または修士課程で1年または2年間の留学をすることが可能です。奨学金受給者は授業料が免除され、さらに毎月の奨学金を受け取ることができます。奨学金の応募手続きは、駐日ポーランド共和国大使館を通じて行われます。募集に関する情報は、大使館のウェブサイト(https://www.gov.pl/web/nippon)に掲載されます。

### お役立ちリンク

NAWA(Polish National Agency for Academic Exchange)



X



駐日ポーランド共和国大使館



## 大韓民国

(情報提供：東京韓国教育院)

韓国は三面が海で囲まれていて四季の区別がはっきりしている気候の国です。悠久の歴史があり、古くから多様な文化が発達しています。最近ではKカルチャーと言われる様々な分野の文化が世界に広がっています。K-POPと映画のほか、キムチ、ビビンバ、ブルゴギなどの韓国の伝統的な食べ物も世界から人気を集めています。



韓国の学校では比較的低コストで勉強ができ、奨学金制度も多くあります。教育の内容は世界的レベルで、学習到達度と教育競争力は世界最高水準と認められています。医療も充実していて、治安的な面でもとても安全な国です。

### 修業年限・学期

- ◎大学：2年～6年（専門大学・特性化大学・ポリテク大学2～3年、一般大学4年、医学部6年）
- ◎大学院：2年～5年（修士号2～3年、博士号3年）
- ◎通常3月から翌年2月までが1学年（2学期制）— 9月からの入学も可能

### 入学条件・出願・選考

- 出願資格
- ◎専門学士、学士：初等中等教育課程をすべて履修したもの（12年課程）
  - ◎修士：学士号所持者
  - ◎博士：修士号所持者
- 出願時期
- 大学ごとに異なるので大学に確認が必要（ホームページ等）
- ◎春学期（3月）入学：前年度の9～11月
  - ◎秋学期（9月）入学：当該年度4～6月
- ビザ申請と取得の手続き：留学ビザ（D-2）
- ◎在留期間：2年（以後更新必要）
  - ◎共通書類：申請書、パスポートの写し、写真1枚、教育機関の事業者登録証の写し、標準入学許可書（大学発行）

### 語学力の目安

大学入学：TOPIK3級以上  
 大学卒業：TOPIK4級以上  
 -2026年韓国語能力試験（TOPIK）：4月、7月、10月、（または11月）の3回実施予定  
 -英語で授業が行われる場合は公認英語成績が必要（TOEFL等）

### 留学にかかる費用の目安・滞在先

- 学費(1学期あたり) 大学および学部ごとに違うので確認が必要（下記は目安）
- ◎専門学士：300万～400万ウォン ◎学士：500万～700万ウォン ◎修士：600万～800万ウォン
  - ◎博士：700万～900万ウォン
- 生活費(1か月あたり)
- ◎住居費：50万ウォン～70万ウォン ◎食費：20万ウォン～30万ウォン ◎交通費：5万ウォン～10万ウォン
  - ◎その他の費用：10万ウォン～20万ウォン（携帯電話、インターネット、医療保険等）

**PICK UP** 奨学金(国家奨学金)

政府招待外国人奨学生、優秀交換学生支援、海外の優秀芸術人材奨学生、KFポスドク研究フェローシップ、KF大学院生奨学支援、KF韓国語フェローシップ、KF訪韓研究フェローシップ(その他にも各大学の奨学金、各財団の奨学金などがあります。)資料ダウンロード先：  
<https://www.studyinkorea.go.kr/ko/guidebookShow.do>

### お役立ちリンク

Study in Korea (留学生支援機構)



韓国教育財団 (GKS奨学金)

